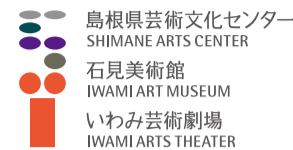


# Grand Toit News

Grantwork ニュース

vol. 75  
Autumn 2023



企画展紹介 「人の居場所を求めて、リアルと空想の狭間で」

劇場事業紹介 「石見地域・平成の大合併前23市町村での公演を実施」

●特集 Grantwork開館18周年感謝祭「きんさいデー」、4年ぶりに開催！

●「Grantworkのおすすめ」面白さは宇宙的！「ケロポンズ」登場！

●リレーでコラム ほか

10月8日(日)  
きんさいデー開催！

## 人の居場所を求めて、リアルと空想の狭間で

企画展「建築家・内藤廣 / BuiltとUnbuilt 赤鬼と青鬼の果てしなき戦い」について、内藤廣さんにお話をうかがいました。

Grantwork設計者の内藤さんの企画展ということで、とても楽しみにしています！テーマを「Built（ビルト＝建設された建物）とUnbuilt（アンビルト＝実現しなかった建物）」と設定されたのは、なぜですか？

設計したけど実現しなかったプロジェクトが山のようにある

ので、それを全部並べてみたら、何か見えてくるんじゃないかと思っただけがきっかけかな。実現しなかったものの方に、意外と自分の考え方がストレートに現れているものが多いし、取り組んでいる時には自分でも分かっていなかったようなアイデアが含まれているという面白さもある

りますね。

それから「オンゴーイング (on going)」、つまり現在進行中のものにも、実現しなかったプロジェクトでやろうとしていた要素が含まれていることもあるので、これも「まだ建っていない」という意味で「アンビルト」として展示します。

さらに、チャンネルがうまく合って実現した建物も、Grantworkを真ん中において、それ以前と以降のものを並べます。そうやってアンビルトと、オンゴーイングと、実際に建った建物、という壮烈なラインナップを見渡すと、何かが見えてくるはず。何もかも曝け出して素っ裸になるという気分ですね(笑)。

この展覧会によって、ようやく内藤さんご自身が見たかったものが見えてくるということですか？

そう。最初はね、色々な人に面白がってもらえるようにとか、たくさん人に来てもらえるようにとか考えていたけど、それはもういや、自分のためにやろう、と思いました。普段は自分のために何かをやるという発想はしないんだけど、せつかく貴重な機会をもらったんだから、一生に一度ぐらいはやらせてもらおうと(笑)。

この展覧会を自分のプレゼンテーションみたいにするのは嫌だと思った。僕も日々挑戦しているの、その姿勢も含めて今現在の自分を全部出しきってやってみよう。いつもそうだけど、そうすると次も見えてくる。在庫一掃、頭の中をカラっぽにしたい。なんでももってけ、って感じ。今後も仕事をさせてもらう機会があったら、それは今回の展覧会の延長線上にあるはず。その意味では予告編かな。

サブタイトルは、内藤さんがご著書『内藤廣の頭と手』(2012年、彰国社)の中で、ご自身の中にある情熱・夢想・逸脱といった要素を「赤鬼」、論理・現実・堅実といった要素を「青鬼」と表現されたことに由来するものですね。

講演会で話をすると、学生や20代の人から「内藤さんにとって赤鬼、青鬼ってなんですか？」とか、「この建物で赤鬼、青鬼はどの部分ですか？」という質問をよく受けます。本で書いた「赤鬼と青鬼」のたとえが分かりやすいみたいなので、この展覧会でも赤鬼と青鬼に建物の説明をしてもらうことにしました。出演の依頼には苦労しましたが(笑)。

若い人が「赤鬼と青鬼」に関

連づけて質問してくるのは、考え方を自分のものにしたいという思いがあるから。誰の中にも赤鬼と青鬼が住んでいて、いつも戦ったり妥協したりしながら暮らしている。でも先生や社会からは早く答えを出せって言われる。

青鬼というのは教育者側や管理する人たちになじみやすいんだろうね。だけど、モノづくりでは赤鬼が主役。喜び、安らぎ、恨み、憤り、それらは理屈じゃない赤鬼の世界。結局現実社会では、両方のバランスをとりながらやっていくしかない。だけど、ともすれば青鬼が勝ちすぎるのが今の日本社会。そう感じているので、「赤鬼と青鬼の果てしなき戦い」というのは、いいんじゃないかと。

読者のみなさんにメッセージをお願いします。

一年以上かけて展覧会のためにたくさんの模型を作っています。今は色々な情報が簡単に手に入るけど、この展覧会は、ここに来ないと絶対に分からない展示にします。生のドローイングやパース、架構模型のリズムや空間、地形と建物の関係、どれも実物を見ないと分からないものばかり。ぜひ多くの人に、会場に足を運んでほしいです。

# 建築家・内藤廣

# BuiltとUnbuilt

赤鬼と青鬼の果てしなき戦い

2023  
9月16日(土) - 12月4日(月)

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「Grantwork」内

【開館時間】9:30-18:00 (展示室への入場は17:30まで) 【休館日】毎週火曜日  
 【観覧料】当日券/一般:1,200(950)円、大学生:600(450)円、小中高生:300(250)円  
 前売券/企画・コレクション展セット 1,000円

※( )内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は入場無料 ※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者(1名まで)は入場無料 ※前売券は、ローソン各店(Lコード:63824)、Grantwork総合案内カウンターで(開館前日まで)お求めになれます。

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ、中国新聞社 【後援】芸術文化とふれあう協議会  
 【特別協力】内藤廣建築設計事務所 【協賛】大畑建設株式会社、高橋建設株式会社、MASCOS INC.、MASUDA KOHBOH Inc.

関連プログラム

**開幕記念 内藤廣 講演会**  
 9月16日(土) 14:00~15:30  
 会場:大ホール 申込不要/参加無料  
 ※ただし企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

**内藤廣によるGrantwork建築案内**  
 ①9月17日(日) 14:00~15:00  
 ②10月22日(日) 14:00~15:00  
 ③11月25日(土) 11:00~12:00  
 集合場所:講義室  
 事前申込制(定員各回30名)/参加費1,000円

**Grantworkスタッフによる建築案内**  
 ④10月7日(土)、⑤11月12日(日)  
 いずれも14:00~15:00 集合場所:講義室  
 事前申込制(定員各回30名)/無料  
 ※ただし企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

**【建築案内の申込方法】**  
 メールにて、1.希望する回(①~⑤)、2.氏名、3.電話番号、4.参加人数をお知らせください。定員に達し次第、締め切ります。  
 申込専用アドレス: naito-g@cul-shimane.jp  
 受付開始:8月11日(金)

1. 島根県芸術文化センター「Grantwork」(模型) 2005年  
 2. 島根県芸術文化センター「Grantwork」(断面図)  
 3. Unbuilt / こまつトーム(模型) 1994年  
 4. 海の博物館(模型) 1992年  
 5. 静岡県立総合運動場体育館(模型) 2015年  
 6. Unbuilt / 日田市庁舎(模型) 2012年  
 7. Unbuilt / アルグリッチハウス(模型) 2012年  
 8. アルグリッチハウス(断面図)

# 石見地域・平成の大合併前 23市町村での公演を実施

グラントワの大・小ホール耐震改修工事をきっかけとして、さらに積極的に館外に出かけ、石見地域合併前の23市町村すべてのエリアで「まちなか劇場」「アウトリーチ」「いわみステージ」など様々な館外事業を行いました。

耐震改修工事のため2021年11月から使えなくなっていたグラントワの大・小ホールが、約1年半ぶりに再オープンしました。グラントワでは耐震改修工事期間中、劇場の外での文化芸術の普及を通常の年以上に積極的に行い、石見地域平成の大合併前23市町村すべてのエリアで様々な事業を実施しました。川本町では悠邑ふるさと会館開館25周年を記念する事業として12年ぶりとなる「劇団四季ファミリーミュージカル」公演を開催。親子で観劇する来場者の姿が多く見られました。旧・桜江町（現・江津市桜江町）では JR旧三江

線川戸駅を会場にパントマイムの公演を開催しました。津和野町では単発的な出張公演の開催ではなく、文化活動を通じて地域を中長期的に盛り上げていく仕組みづくりを、地域住民と検証しながら3か年計画で取り組んでいます。また中山間地域を中心に安来節ツアーを開催し、旧・弥栄村の弥栄会館で毎月開かれる朝市「や市」や、貴重な木造校舎が残る木田暮らしの学校（旧・木田小学校）で公演を行いました。今後も多種多様な文化鑑賞・体験機会をお届けしていきますので、ぜひご期待ください。

現市町村	No.	旧市町村	会場	アーティスト名
大田市	1	大田市	あすてらす	Duo・アフエッティ(音楽)
	2	仁摩町	大森町並み交流センター	今福座(和太鼓)
	3	温泉津町	温泉津小学校	山本光洋(パントマイム)
美郷町	4	邑智町	みさと館	安来節、ミサト・サリ(バリ舞踊)
	5	大和村	都賀保育園	X[iksa](音楽)
川本町	6	川本町	悠邑ふるさと会館	劇団四季(演劇)
邑南町	7	石見町	矢上交流センター	今福座(和太鼓)
	8	瑞穂町	瑞穂小学校	今福座(和太鼓)
	9	羽須美村	口羽小学校	安田登、塩高和之(能・琵琶)
江津市	10	江津市	ミルクウェイホール	県内高校神楽部
	11	桜江町	JR旧三江線川戸駅舎	山本光洋(パントマイム)
浜田市	12	浜田市	石央文化ホール	オペラシアターこんやく座(オペラ)
	13	金城町	今福小学校	山口とも(音楽)
	14	旭町	旭小学校	安来節(伝統芸能)
	15	三隅町	三隅中央会館	山口とも(音楽)
	16	弥栄村	弥栄会館	安来節(伝統芸能)
益田市	17	益田市	デルマーレキアーム	~Ki-Ko!~合奏団(音楽)
	18	美都町	ふれあいホールみと	AMATEUR MUSIC FES 出演団体
	19	匹見町	匹見小学校	山陰フィルハーモニー管弦楽団
津和野町	20	津和野町	津和野町内各所	今福座、坪内健、志人
	21	日原町	青原小学校	石見国くにびき18座(演劇)
吉賀町	22	六日市町	七日市小学校	しまねガムラン(音楽)
	23	柿木村	柿木体育館	山陰フィルハーモニー管弦楽団



【演劇】劇団四季ファミリーミュージカル(川本町)



【パントマイム】山本光洋(桜江町)



【伝統芸能】高校生神楽フェスティバル(江津市)



【伝統芸能】安来節(旭町)

## 石見地域・平成の大合併とは？

石見(いわみ)地域とは、島根県西部の総称です。東西に約140kmと長く、県境を南は広島県と西は山口県と接しています。全国的に行われた平成21年度までの平成の大合併により、石見地域では23市町村から9市町となりました。

# LIFE with グラントワ

総合芸術の宝 グラントワ

財布もチケットもいらぬ。何も持たずとも、気軽に芸術と出会える場所がここにはあります。

グラントワでは年数回、美術館ロビーや大ホールホワイエにて「いつでもどこでも音楽祭」という無料のコンサートが開催されていて、これまで2度出演させて頂きました。赤ちゃんからお年寄り、ふらりと通りがかった人まで自由

に鑑賞できるという、演者と聴衆との距離感が魅力的な催しです。

そしてグラントワならではの空間にも、私は特別な思い入れを持っています。石州瓦が一面に広がる外観。中庭の水盤はお日様の光で輝き、水面に瓦が反射している。美術館ロビーの天井の高さや丸みは、まるでヨーロッパの教会の様でとても神秘的です。

音は空気の波動であり、その響きを作る空間があってこそ、音楽が生まれます。これからもグラントワでしか聴けない響きで、皆さまに私の音楽を届けていきたいです。

【ピアニスト 山根ゆい】

## PICK UP EVENT

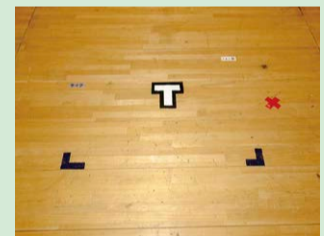


今福座  
和太鼓公演  
2023年10月1日(日)  
14:00開演  
大ホール

島根県益田市匹見町を拠点として活動する太鼓打ち・今福優氏が率いる今福座は今年で結成20周年を迎えます。篠笛・三味線等の和楽器奏者として活躍する木村俊介氏、そして広島から和太鼓に洋楽器のドラム、サクスを加えた気鋭のグループ『太鼓ユニット我龍』を特別ゲストに迎え、様々な表現で舞台を彩ります。さらに地元和太鼓グループや神楽社中も共演予定です。勇壮なリズムと魂の共鳴が織りなすこの日限りのステージをどうぞお見逃しなく！

※料金等の詳しい情報は、本ページ下の広告欄をご覧ください。

## 劇・場・を・探・る



### 【バミリ】

舞台転換を行う際、素早く正確に転換を行うため、演奏会ではマイクスタンドや楽器、講演会では机や椅子、演劇では使用する舞台セットの配置位置に目印をつけることを「バミリ」といいます。また舞台上の出演者の立ち位置に「バミリ」をすることで、照明の位置から外れないようにするなど、舞台の進行上不可欠であり重要な役割を担っています。

今回は「雪カゴ(雪布)」です。

いわみ芸術劇場ホール再開記念

三沙 二土前内 土屋主税 二浜

# 松竹大歌舞伎

令和五年度(公社)全国公立文化施設協会主催 西コース

「松竹大歌舞伎公演」  
四〇〇年の歴史を持つ日本の代表的な古典演劇の魅力に味わってください。

2023年  
9月10日(日)  
開場 13:15 / 開演 14:00  
いわみ芸術劇場大ホール

入場料 [全席自由・税込]  
[S席] 8,000円  
[A席] 6,000円  
[B席] 3,000円

チケット好評発売中

親子で楽しめる、笑いあり、歌あり、遊びあり、体操ありの盛りだくさんのコンサート。

# ケロポンス

ファミリーコンサート

「エビカニクス」を  
おびっちょっ!

チケット好評発売中

2023 9.23(土祝)

開場 13:00 / 開演 13:30  
いわみ芸術劇場大ホール

入場料 [全席指定・税込]  
[一般] 2,000円  
[小学生以下] 1,000円  
※当日各500円増し  
※3歳未満観覧上鑑賞無料(お席が必要な場合は有料)

出演 今福座 今福優 | 末長愛 | 堂本英里  
道川神楽社中、地元和太鼓グループほか

ゲスト 木村俊介(篠笛、三味線ほか)  
太鼓ユニット我龍(和太鼓、ドラム、サクス)

# 今福座 和太鼓 公演

2023 10月1日(日)

いわみ芸術劇場大ホール  
開演 14:00

8月5日(土) チケット発売

入場料 [全席自由・税込]  
[一般] 2,000円  
[高校生以下] 1,500円 未就学児無料 ※当日各500円増し

益田おやこ劇場連携事業

# オズのまほうつかい

ドロシーはカカシ、ブリキ、ライオンとまほうつかいを探す旅に出る!

世界中で親しまれている物語を、人形劇団むすび座ならではの視点とスケールで描きます。

2023年 10月21日(土)

いわみ芸術劇場小ホール  
開場 12:30 開演 13:00

8月17日(木) チケット発売

入場料 [全席自由・税込]  
[一般] 2,500円 [高校生以下] 1,500円  
※当日各500円増し  
※3歳以下観覧上鑑賞無料(お席が必要な場合は有料)

# グラントワ開館「きんさいデー」、 18周年感謝祭「きんさいデー」、 4年ぶりに開催!

2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年どおりの開催が中断されていた周年感謝祭「きんさいデー」が、4年ぶりに復活します。当日は、石見美術館の入館が終日無料となり、いわみ芸術劇場のホールやホワイエ、中庭広場などグラントワ全館を使った様々なイベントを開催予定です。



石見美術館の終日無料開放

「グラントワ」が開館した2005年10月8日にちなみ、毎年10月上旬の日曜日に開催されてきた感謝祭「きんさいデー」。石見美術館の終日無料開放や劇場ホールでの催しなどのほか、様々な内容で開催してきました。

2020年の秋からは、新型コロナウイルス感染症の影響で全館を使った例年どおりの開催がで

きませんでした。2023年10月8日(日)、4年ぶりに全館をあげた「きんさいデー」が開催されます。

当日は、きんさいデーの目玉企画のひとつ、石見美術館の終日無料開放も復活! 展示室では、「グラントワ」設計者・内藤廣さんの企画展が開催されています。グラントワの建築模型も展示される予定です。ぜひ、「鳥の目線で見るとグラントワ」もお楽しみください。

いわみ芸術劇場ではホールやホワイエなどを会場にした楽しいイベントを開催予定です。こ

2023  
10/8 SUN  
10:00  
START!



きんさいデー当日の中庭広場

の紹介記事を執筆している現在、グラントワで働くスタッフで構成された「きんさいデー」メンバーたちが、大人も子どもも楽しんでいただけたらとっておきの内容を企画中です。ワークショップやパフォーマンス、会員様向けの特別企画なども予定していますので、どうぞお楽しみに。「きんさいデー」の魅力は、



いわみ芸術劇場大ホールでの催しの様子

“食欲の秋”も満たしてくれることです。中庭広場で開催される「きんさい食堂」では、グラントワ提携店をはじめとした地元飲食店などの方たちがグルメやスイーツをご提供します。

開館18周年を迎える「グラントワ」で、特別な秋の一日をお過ごしください。多くの皆様のご来館をお待ちしています!

グラントワ開館18周年感謝祭  
「きんさいデー」  
2023年10月8日(日)  
10:00~  
[料金]入場無料(飲食等一部有料)

## Grand Toit's RECOMMENDATION

グラントワのおすすめ



面白さは宇宙的!  
みんなで  
「エビカニクス」を  
おどっちゃおう!

0歳児から楽しめるあそびうたや体操で大人気のケロポンズがグラントワにやってきます!

ケロポンズは、増田裕子さん(ケロ)と平田明子さん(ボン)からなるミュージック・ユニット。あそびうたの他、体操の作詞・作曲・振付などを手掛け、親子コンサートや、子育てイベントなどで活躍中です。

代表作「エビカニクス」は、保育園や幼稚園の定番の体操曲として人気が高いので、音楽が流れたら自然と身体が動いちゃうお子さまも少なくないはず。曲にぴったりの明るくユニークなダンスにきっと笑顔になることでしょう。

笑いあり、遊びあり、体操ありの盛りだくさんのコンサートは9月23日開催。会場のお友達といっしょに元気いっぱい歌って踊って楽しんじゃいましょう!

ケロポンズ  
オフィシャルサイト  
<https://kaeruchan.net/>

ケロポンズ  
KEROPONS  
1999年結成。増田裕子(ケロ)と平田明子(ボン)からなるミュージック・ユニット。子ども向け音楽や振付の制作を手掛け、親子コンサートなどに年間100公演以上出演する。代表作「エビカニクス」は、保育園や幼稚園で人気の定番体操曲で、YouTube動画再生回数は1億2千万回を突破(2023年2月現在)。

## みさき 美術館に よいて



コレクション展  
「マスキュリン/  
フェミニン」  
10月25日(水)  
~12月11日(月)  
会場:展示室B

イヴ・サンローラン  
《イヴニング・ドレス》  
1967年頃

## The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

学芸課長 南目美輝

ファッション史において大きな「節目」として挙げられるのが、1960年代のミニスカートの世界規模での流行です。それまでファッション界をリードしていたパリ・オートクチュールは「大人の女性」をターゲットとしていました。しかし60年代になると、戦後生まれの若者たちが存在感を増し、ロンドンの若者のストリートファッションから生まれたミニスカートが、世界中の若者に支持されて大流行します。本品はクレージュが1968年に



アンドレ・クレージュ  
《デイ・ドレス》  
1968年 当館蔵

発表したもの。ウエストには裏地がなく、着る人の腹部が透けて見えるデザインで、それまで主流だった、ウエストを締め胸やヒップを強調するスタイルとは真逆のシルエットが特徴です。このミニのドレスは、女性もまた男性と同じような脚をもつ存在であることを示すという点において、画期的な服でした。

コレクション展「マスキュリン/フェミニン」について、担当学芸員の廣田理紗さんにきいてみました。

Q1. まずはタイトルについておしえてください。

「マスキュリン」は「男性的な、男の」、「フェミニン」は「女性的な、女の」という意味です。対義語であるこの二つの言葉を起点として、「性と装い」について考える機会にしたいと思い、表題としました。

Q2. それは面白そうですね。最近では性の多様化が進み、その動きは服装にも表現されてきたなと感じます。

スカートか、パンツか、好きな方を選べる制服を導入する学校も増えてきて、性の自認や、性的な側面を社会にどう表現したいかといった個人個人の感覚が尊重されるようになってきましたね。展覧会では、デザイナーたちが服を通して、時代ごとの性の規範にどのように向き合ってきたか、ご覧いただけます。

オペラシアター  
これにゃく座 **あん**

[原作・台本] ドリアン 助川 (ポプラ社刊「あん」より)  
[作曲] 寺嶋陸也 [演出] 上村聡史

10月12日(木)  
チケット発売

2023 12.24(日)  
いわみ芸術劇場小ホール  
開場 15:30 / 開演 16:00

**入場料** ※全席指定・税込 ※未就学児入場不可 ※当日各500円増し  
[一般] 3,500円 [U25(25歳以下)] 2,000円

世界中で翻訳されている小説「あん」が原作者自身の台本でオペラになりました。2023年全国初ツアーで益田にやります。オペラの新境地を拓くこにゃく座と作曲家自身によるピアノ、必聴です。

あなたのまちで味わう芸術文化

グラントワ  
館外公演事業

いわみ芸術劇場の大・小ホール再開後も、  
文化芸術を楽しんでいただけることを目的に開催します。

鑑賞公演や芸術体験を開催 /

グラントワ  
アウトリーチ事業

石見地域の学校や地域施設を中心に  
芸術文化をお届けします。

各公演の日程、会場等の詳細は、決まり次第HP等でお知らせします

Grandtoit 美術館

情報発信 イベント チケットもぎり  
グラントワが大好きだという方  
ワークショップ

グラントワボランティア会  
大募集!

グラントワの裏側をお手伝いしてくださる  
ボランティアを募集しています。  
経験が無くても大丈夫。  
すでに活躍中のボランティアスタッフと一緒に、  
楽しく時間を過ごしませんか?

お問い合わせはグラントワまで  
TEL 0856-31-1860

場内案内 発送作業 生花活け込み

劇場 グラントワに興味のある方  
Volunteers

コレクション展  
1960-70年代の  
ファッション

9月6日(水)  
~10月23日(月)  
展示室B  
※「The Collection  
わたしのおすすめ」参照

ザンドラ・ローズ  
《カフタン風ワンピースドレス》  
1969年

石見美術館  
コレクション展

コレクション展  
マスキュリン/  
フェミニン

10月25日(水)~12月11日(月)  
展示室B  
※「美術館にきてみよう」参照

BIBA  
《パンツ・スーツ》  
1970年

・自分が住む益田市からほど近い津和野にも素晴らしい絵師たちがいたことを知りました。当時描かれた数々の作品が令和の時代にまで残っている事にも大変感激しました。(益田市・40代/企画展「没後150年 山本葉谷と津和野藩の絵師たち」)  
・美しい音、優しい音、とても癒されました。なかなか生の音を聴く機会がないので、大変貴重で有意義な時間になりました。(益田市・40代/[広島交響楽団 第30回島根定期演奏会])  
・久しぶりに素敵なひとときを過ごすことができ良かったです。どうもありがとうございました。次回も聴きに来ようと思います。(益田市・60代/いつでもどこでも音楽祭「弦楽合奏団サマーコンサート」)

# Grand Toit & / リレーでコラム 9

福間 一 (いわみ芸術劇場文化事業課課長代理)

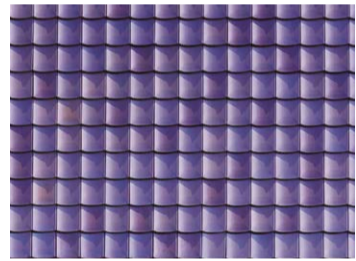
毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。第9回は、文化事業課課長代理の福間一さんです。

出身である石見地域に戻り、グラントワに勤務して5年が経ちました。馴染深い石州瓦が施されたグラントワで働いていると、季節や天候によって色合いが変化する瓦の美しさに、改めてこの地域の風土の豊かさを感じます。一枚一枚の瓦はランダムな色調ながらも自然と感じられる建物全体の調和は、ここで生み出される様々な表現に通じる気がします。美術や実演芸術、伝統芸能など多彩で個性的な表現を創造し、発信する「場」として沢山の方の感性が刺激される場所であるといいな、と思います。

また、グラントワは「場」として同時に、芸術文化を発信・波及させていく「機能」の役割もあります。劇場の館外事業として、石見地域を中心に芸術文化を直接お届けしたり、共に創作したりする機会も多々あります。鑑賞し、

表現する機会を通じてその豊かさへ関心が高まり、地域に創造的な深みが増すための取り組みもグラントワの「機能」の一つだと考えています。コロナ禍では、オンラインを活用した発信に可能性を感じましたし、その長所を活かした展開はこれからも必要です。

一方で、生で観る、体験する、つくりあげる、という舞台でしか味わえない魅力や表現の底力も改めて感じています。ホールの工事休館も明け、これからまた「場」として「機能」として色彩豊かな石州瓦のように多彩な表現を発信していきたいと思っています。



グラントワの瓦壁

今回は左近充直美さん(石見美術館専門学芸員)の予定です。

## 報告します!

イッタラ展関連プログラム「グラントワ・マルシェ 2023」を開催しました!

5月3日(水・祝)、企画展「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」に合わせ、「フィンランドの食・文化・エコ」をテーマにしたマルシェを開催しました。

フィンランドの代表的な料理や北欧雑貨の販売のほか、フィンランド発祥のアウトドアゲーム「モルック」の体験、ムーミンの映画や、峯モトタカオさんによる癒しの打楽器「ハンドパン」の生演奏とともにご覧いただくオーロラ上映、フィンランドの伝統的な飾り「ヒンメリ」作りなど、イッタラが生まれた国・フィンランドの文化を体験できる企画が盛りだくさんで、会場は多くの家族連れなどで賑わいました。



モルック体験の様子



ハンドパンの生演奏とオーロラ上映の様子

「市民演劇集団『ドリームカンパニー』公演」開催



当日の様子

5月28日(日)、益田市を中心に活動する市民演劇集団「ドリームカンパニー」の公演が開催されました。コロナ禍で困難を抱えた人々が生きる希望を見出す姿を描いた作品「スマイル」、家庭内暴力やペットの殺処分など重い題材を扱いつつも、まなならない家族の日常をコミカルに描いた作品「猫 ガナク。」の2作品を上演しました。

「大駱駝艦・天賦典式『おわり』」開催



当日の様子

6月18日(日)、グラントワ大ホールにて大駱駝艦・天賦典式『おわり』公演を実施しました。2年ぶりの登場となった今回の作品は壮大な宇宙をテーマに鷹赤児が繰り広げる宇宙模様を描いた作品で、観客からは「世界観に圧倒された」「感動した」との声が多く聞かれました。県外、海外からの来場者もあり賑わいをみせた公演となりました。

## グラントワ通への道

Q. グラントワに行くといつもびかびかにきれいですが、清掃はどのようにしているんですか??

A. グラントワでは、年末年始を除き毎日、清掃業務を委託されている三光ビル管理(本社・益田市)のスタッフの皆さんがチームを組んで建物の外部や館内の清掃を行っています。揃いのユニフォームを身にまとい、丁寧な仕事でグラントワの美観を保ってくれています。



読者プレゼント

石見美術館 企画展「建築家・内藤廣/BuiltとUnbuilt 赤鬼と青鬼の果てしなき戦い」招待券をペア10組様にプレゼント!



毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、8月31日(木)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.75 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: present@grandtoit.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

## オリジナルパーティーを演出いたします。

ポニイ特製

パーティやイベント、クリスマス、ウェディングや忘年会などシーンにあわせて特製のオードブルを、ご予算とご要望にあわせてご提案。ケータリングサービスも可能です。ひとつひとつスタッフが腕を凝らして作り上げるポニイ特製のオリジナル・オードブルで、素敵なひとときを演出してみませんか?



詳しくはポニイまでお問い合わせください。

Restaurant Pony  
■営業時間 ※イベントにより変更あり・夜は予約のみ  
11:30~16:30 (14:00~カフェタイム)  
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始  
■TEL / 0856-31-1873  
www.restaurant-pony.com/

### コン・アモールでお気に入りのアイテムを見つけてください

ミュージアムショップ コン・アモールでは、グラントワ設計者・内藤廣さんの書画や展覧会図録をはじめ、アートや芸術にちなんだ書籍や雑貨などのおすすめ商品や、ショップオリジナル商品、地元の商品など多数のアイテムを取り揃えています。グラントワこ来館の記念にぜひお立ち寄りください。

MUSEUM SHOP con amore  
■営業時間 / 9:30~17:00  
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始  
■TEL / 0856-31-1874  
www.grandtoit.jp/shop/

## Follow Us!

最新の情報をいち早くお知らせ

「グラントワ」公式 Facebook @grandtoit.jp  
「石見美術館」公式 Instagram @iwamiartmuseum  
「グラントワ」公式 Twitter @grand\_toit  
「グラントワ」公式 YouTube @grandtoit

「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や関連プログラム、「いわみ芸術劇場」で開催されるコンサート、演劇、イベント情報をはじめ、「グラントワ」に関する様々な最新情報を随時更新中。

## グラントワ会員募集中

「グラントワ」では、3つの有料会員と無料のオンラインチケット会員の制度を設けています。文化・芸術に触れる機会と時間を増やし、グラントワと共に人生を彩ってみませんか?

有料会員 入会方法・特典など詳しい内容は

グラントワ共通カード  
美術館も劇場も楽しみたい方におすすめ!  
会費(税込) 一般 4,000円 大学生 3,000円 小中高生 2,250円

ミュージアムパスポート  
美術館への入館がいつでも無料!  
会費(税込) 一般 3,000円 大学生 1,800円 小中高生 900円

ホール友の会  
劇場イベントの先行予約&先行購入!  
会費(税込) 2,000円

無料会員 登録・ご利用方法など詳しい内容は

オンラインチケット「シマチケ」  
シマチケ! オンラインで劇場のチケットを購入! 登録無料

各会員の詳しい特典と内容は、グラントワホームページをご覧ください。

## 編集後記

■住宅の間取り図を見るのが大好きです。建築のことは全然詳しくないけど、ワクワクするんです。いつか小さな平屋建ての家に住みたいな〜。[T.Y]

■軽い貧血が続き悩んでいたところサジードリンクをいただきました。鉄分豊富で疲労回復にも良いとの事。これから夏本番、飲み続けます。[M.A]

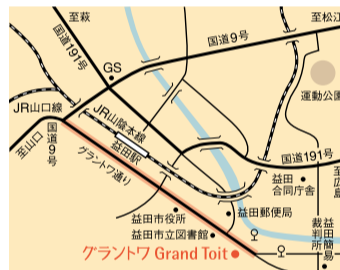
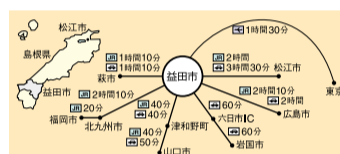
■職員としてこの建物を設計した内藤先生の展覧会が開催されることはとても感慨深いです。ここで働いていて良かったなと改めて思いました。[T.Y]

■イベントで賑わう会場を見ると、益田にこんなに人がいたのかと驚きます。この賑わいが当たり前になる日々を皆が待ち望んでいたようです。[S.N]

## INFORMATION

■開館(利用)時間  
※グラントワは8:45から開館  
石見美術館 9:30~18:00  
(展示室への入場は開館30分前まで)  
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)  
※催しに合わせて休館日を変更する場合があります。  
石見美術館 毎週火曜日、年末年始  
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始  
※2023年8月15日(火)は臨時開館



交通案内  
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分  
◎JR益田駅から徒歩15分  
◎秋・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分  
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分  
◎JR新山形駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit  
島根県芸術文化センター「グラントワ」  
〒698-0022 益田市有明町5-15  
TEL: 0856-31-1860(代表)  
FAX: 0856-31-1884(代表)  
e-mail: zaidan@grandtoit.jp  
www.grandtoit.jp

